

		はい	どちらとも いえない	いいえ	
環境 体制 整備	1		○		曜日によっては15名に達する利用がある。 フロアは、比較的十分な広さを確保できているが、個別対応ができるスペースがないこと、構造化を進めなければならないことが課題である。
	2		○		サビ管1名(管理者と兼務) 正規職員1名・契約雇用4名 加配を含めた人数ではあるが、療育活動をするにあたっては適切と言い難い。
	3		○		既存する園舎をそのまま利用しており、バリアフリー化はなされていない。 月一回修繕・危険箇所の点検を行いながら快適な環境になるよう改善に努めている。
業務 改善	4	○			朝礼や終礼にて一日の取り組み目標や振り返りは行っている。 毎月、会議にて設定した目標に対する振り返りをしながら課題を共有し、次月に取り組んでいる。
	5	○			ガイドラインの保護者向けアンケートを実施し業務改善への取り組みにつなげている。
	6	○			ホームページでの公開予定
	7			○	第三者による外部評価は受審してない。法人の表委員による福祉サービス評価は実施し、公表するとともに改善に努めている。
	8	○			毎月研修を実施し、知識・技能の向上に努めている。
適切 な	9	○			個々の児童の発達段階の課題を分析しつつ、療育につながるプログラムを作成している。
	10	○			法人で定められたアセスメントシートを使用している。
	11	○			担当者が中心になり、チーム全体で意見を出し合いながら活動内容を立案している。
	12	○			知育・運動・療育的な分野、余暇的活動等バランスを考えながら検討している。
	13		○		平日用、長期休暇・休日用の活動プログラムを考えて取り組んでいるが、細やかな課題設定することが今後の課題である。

支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		それぞれの児童の個別支援計画をもとに個別・集団での活動に取り組んでいる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼にて当日の支援を確認している。1週間ごとに業務分担をし、各自ジョブロードを把握しながら進めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終礼時に当日の支援内容や保護者からの引き継ぎ等ノートや記録への記載を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援計画に沿った記録をとるようにし、毎月振り返りを行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		最長6か月ごとの計画の見直しを行い、児童の状態や計画の達成状況を評価しながら見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		地域での活動や創作活動への取り組みや発達段階に応じた生活の課題への取り組みを保護者と意見を交換しながら進めている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画し	○		担当者会議にサビ管、担当者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		毎回の送迎時に必ず引き継ぎを行い、必要に応じ学校への訪問、情報交換・連絡調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	開所以降、医療的ケアを要する児童が在籍していないが、受け入れに当たってはアセスメントを実施し医療面での支援が必要な場合は、関係機関との調整を含め体制を整えることになる。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	利用前のアセスメントの際に保護者からの聞き取りを行っている。児童発達支援事業所、保育所等との連携についてはできていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する	○		相談支援事業所を通して情報を提供したり、直接福祉サービス事業所への情報提供をしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		支援困難や保護者からの相談内容によっては児童発達支援センター・発達支援センターとの連携を図っている。研修については必要に応じて講師の依頼やセンターが実施する研修への参加を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		事業所内にて併設された学童保育事業と連携しながら交流する機会を設けている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		自立支援協議会(児童・乳幼児部会)に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		子供の状況は連絡ノートや直接保護者への連絡等行いながら連携を深めている。モニタリング時、送迎時に保護者の方の考える課題等について話し合う機会を作っている。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	保護者からの相談に対しては、家族支援として個別に対応しているが、保護者への積極的なトレーニングの実施には至っていない。
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○	契約時に重要事項説明書をもとに説明をしている。その後は、必要に応じ説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。		○	半年ごとのモニタリングの機会を通じ、面談・相談の機会としている。また保護者からの個別の相談については随時行っている。また、帰になる子供の家庭には関係機関や相談事業所との連携を図り対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		○	昨年度より保護者同士の連携を深める機会を目的に保護者会を開催した。今年度も2月ごろに開催予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○	苦情が寄せられた場合には法人で定められたマニュアルに沿って対応している。ご意見については記録に残し、事業所にて共有し改善に努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信し		○	月1回を目安とし、子どもたちの様子や活動の紹介を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか		○	個人情報の取り扱いについては、原則外部へ持ち出しをしない。また、職員行動規範として固く遵守している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○	こまめに連絡をとり合い、分かりやすい説明を心がけている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	年に1回地域交流を目的とした愛あいフェスティバルを開催している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	緊急時対応や感染予防マニュアルについては保護者への周知を行っている。研修の機会を作り、感染症や緊急時の対応を学んでいる。防犯マニュアルの作成はできていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	地震・津波、大気汚染などの訓練を毎月実施。長期休暇に児童も参加した避難訓練をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	研修は、年間2回の実施を基本としている。職員への人権虐待アンケートを実施し、所属長とヒアリングをしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	身体拘束の必要性について支援会議を開き検討している。身体拘束が必要と判断した時には、保護者に説明を行い、同意書を作成し、計画書にも記載する。また、支援計画の見直しに伴って定期的に必要性や実施状態等検証している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	保護者の方へのアレルギー調査を行ってアレルギー対応をしている。現在、医師の指示はとっていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	インシデントの報告を受けて、対応の検討や情報共有の供覧は行っている。事例集の作成は現在できていない。